

第四十一回 帝國議會精神病院法案外二件特別委員會議事速記錄第四號

大正八年三月十二日(水曜日)午前十時四十六分開會
○委員長(侯爵花山院親家君)是ヨリ開會イタシマス、
昨日ニ續キマシテ精神病院法案ノ質問ヲ繼續シタイト思
ヒマス

○江木千之君 内務大臣御出席アリマスルカラ、内
務大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス精神病院法ノ第一條ノ第三
項ニアリマスル「精神病院ノ管理及費用分擔ノ方法ハ關
係地方長官ノ協議ニ依リ之ヲ定ム」協議調ハサルトキハ主
務大臣之ヲ定ム「斯ウ云フコトノ規定ガアリマスルガ、ソレ
ハ府縣制改正前ナラバ、癩病ノ豫防法ナドニモ慥カ斯ウ云
フ規定ガアンタクト思ヒマスガ、是ハ府縣制ニ於テ府縣組合
トカ云フヤウナ方法ガ設ケラレヌ以前、已ムヲ得ズシテ之ニ
類似ノ規定ヲ設ケタコトハアルノデアルガ、其不便ヲ感ジテ
府縣制ニ於テ府縣組合ノ規定ヲ拵ヘ、其府縣組合ト云フ
ノハ府縣ガ申合セテ共同ニ事業ヲ經營スルト云フ場合ニモ
適用出來ルシ、又政府が必要ト見テ此事業ハ組合デヤラサ
ウト云フ時ニモ、ヤルコトガ出來ルヤウニナッテ居ル、ソレニ
讓テ何ニモ不都合ハナイノデアル、然ルニ斯ウ云フ規定ヲ
設ケルト 是デハマルデ其府縣人民ノ負擔ニナルモノヲ、行
政官ガ申合セテ極メテ、府縣會ナド、云フモノハ少シモ口ヲ
出スコトガ出來ヌト云フヤウニナリハセヌカ、甚ダ今日ノ一
體ノ進路ニ照シテモ大變是ハ姑息ナ遣方デアルノミナラズ、
府縣制ニ府縣組合ノ規定ガアルニモ拘ラズ、斯ウ云フ制度
ヲ新タニ設ケルコトガ出來ルトナタナラバ、幾ラモ之ニ類シ
タコトガ起ルデアラウ、或ハ商船學校ノ如キハ縣々ニ設ケル
必要ハナ、瀬戸内海デ一ツ一ツアレバ宜イト云フヤウナコ
トガ、各府縣デ從來希望スルヤウナコトガアリマス、或ハ水
產ノ試驗デアルトカ云フヤウナコトモ、瀬戸内海ノ同一ナ海
ニ居ル魚デアルノヲ調ペルノニ、各縣ガ試驗所ヲ設ケテ、ソレ
ヲ調ブル目的物ハ何カト云フト、一ソノ同ジ魚デアルハ實ニ
馬鹿氣タコトヲシテ居ル、サウ云フノハ一ツニヤルコトニシタ
ナラバ、規模モ大キクナツテ大變事業モ進歩スルヤウナコトガ
幾ラモアル、サウ云フノハ是ハ成程行政官ノ便利デアルカラ、
斯ウ云フ規定ヲ設ケタラ、宜カヌウト云フコトニナッタラ續々
○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今御尋ノコトハ此精神
病院ナリ、若クハ感化院ナリ、療養所ナリ、何レモ必要チ
はドウ云フ必要ガアッテ、特ニ此規定ヲ設ケラレタノデアラ
ウカ、ト云フコトヲ詳シク伺ヒタイト思フ

○江木千之君 内務大臣ノ唯今ノ御説明デハドウモ其意
ヲ得ヌト考ヘマスル、是デモ自治體ハ丸デ關係シナイコトハ
此金額等ニ至テハ如何トモスルコト、出來ヌ、最モ陸軍ノ

リト認メタ時分ニハ府縣ノ意志ノ如何ニ拘ラズ、主務大臣
デ設置ヲ命ズルコトニナッテ居ルノデアリマシテ、府縣ガ自ラ
或ル事業ノ計畫ナド、ト云フノトハ自ラ其間ニ差別ノアル
次第デアリマスガ、茲ニ府縣ノ經濟ノコトヲ考ヘマスレバ、必
シモ一府縣毎ニ設置セシムル必要ハナシ、共同分擔セシメ

テ其目的ヲ達シ得ルト云フ時分ニハ、即チ數府縣ニ共同ノ
設置ヲ命ズルト云フコトハ便宜ノ處置ト思フノデアリマス、
唯其時ニ御質問ノコトハ府縣制ノ勘キニ依テ組合ヲ作ラ
シテ、ソレニ依テ働イシラズウカト云フ御質問デゴザイマス
ルガ、此府縣制ノ方ニ組合ノコトハ府縣ニ於テ事務ノ一部
ヲ共同スル爲其協議ニ依リ規約ヲ定メ内務大臣ノ許可ヲ
得テ組合ヲ設ケルコトヲ得、是ハ併シ何カ命令シテ置クコ
トガアツガ、此二十六條ノ六ニ「公益上必要アル場合ニ
於テハ内務大臣ハ關係アル府縣會ノ意見ヲ徵シ府縣組合
ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ組合規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ
財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得」斯ウアリマスカラ、是ハ
公益上固ヨリ必要トシテ内務大臣ガ指定スル譯テゴザイマ
スカラ、此百二十六條ノ六ノ手續ヲ履メバ、必シモ出來ヌ
コトハ無イノデアリマスルガ、併シ此事柄ノ如キハサウ複雜
シタコトモアリマセヌシ、又府縣ノ自發的ニ起ス仕事デモ
無イモノデアリマスカラ、却テ本條ノ如ク致シテ置キマスル
方ガ庶務處辨上ニハ宜シイカト思フノデアリマス、感化院
法等ノ例ニ依リマシテモ、左様ニ考ヘマスルガ、尤モ此法ニ
依リマシテモ全ク自治體ノ權能ヲ無視スルト云フ譯ニハ參
リマセヌ、主務大臣ガ命令シ地方長官ガ協議イタシマシタ
處デ、豫算ノ關係ニ於テハ府縣會ノ意見ヲ求メナケレバナ
ラヌノデゴザイマスカラ、全ク自治體ノ意見ヲ徵セスト云フ
譯テハ無イト考ヘマス、百二十六條ノ六ニ依テ内務大臣
ガ一旦組合ノ設置ヲ命ジ、組合ガ出來上リマスレバ其組合
ノ決スル所ニ依ルト申スモノノ矢張リ原案ハ實際ニ於テ
府縣知事ガ協議ヲシ知事が發案スルト云フコトニナルノデ
ゴザイマシテ、幾分カノ相違ハアルト思ヒマスガ、全ク自治
體ノ意ヲ尊重セスト云フ譯テモゴザイマセヌカラ、是デ御同意
下サクタ方ガ便宜カト思ヒマス

○男爵高木兼寛君 本員ハチヨット分リ兼ネル所ガアリマ
スガ、此第六條ノ中ニ國立精神病院ト云フコトガアリマス
ガ、是ハ國立精神病院ト云フモノガ中心ニナルガ如クシカ
思ハレス、全國一ソモナインニ、此法ニ依ルト國立ノモノガ
ナインニ入レルトハドウ云フコトカト云フ憂ガアリハセヌカ、
是ハドウ云フ御意見デアリマスカ

○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今ノハチヨットハッキリ了
解シ兼不マシタガ、國立精神病院ノ必要ガアルカト云フコト
デアリマスカ

○男爵高木兼寛君 無論ナクデハナラナイト思ヒマス、所
ガ是デハ國立精神病院ヲ建テル案ニナシテ居ラヌ、今日國
立精神病院ハナイ、無イ所ニ國立精神病院ノコトヲ言ッテ
アルノデ…

○國務大臣(床次竹二郎君) 分リマシタ、國立精神病院
ハ何レ設置ノ必要ヲ餘儀ナクスル時ガ來ルダラウト考ヘマ
スノデス、第一ハ道府縣デ設置ヲ致シマスルガ、中ニハ精神

病患者ノ、何ト申シマスカ危険性ヲ帶ビタモノト申シマス
カ重態ナモノト申シマスカ、道府縣ガ何時迄モノレコト收容ス
ルコトハエライ迷惑ノモノモアリ、又其監護上十分ニイカヌ
ト云フモノモアラウト思フノデス、サウ云フモノハ寧口各縣カ
要スペキ少年デアリマシテモ、ソレヲ一々小ナサ經濟ノ一府
縣デ何レモ相當ニ感化ノ道ヲ盡スト云フコトハ中と骨ノ折
レルコトデゴザイマスノデ、極メテ性ノ惡イモノハ寧口一箇所
ノ國立感化院ニ收容スルガ感化ノ目的ヲ達シ、縣ノ經濟ヲ
モ甚シク負擔ヲ重カラシメズニ濟ム、斯ウ云フヤウナコトデ
ソレト同ジヤウナ考デ他曰國立精神病院ヲ設立スル必要
ガアルト考ヘマシテ此箇條ヲ設ケテアル次第アリマス

○男爵高木兼寛君 御説明ニ依リマスレバ、國立精神病
院ナルモノデナケレバ、完全ナル病院トナルコトヲ得ズ、從テ
患者ヲ取扱フ上ニ於テ自然不足ヲ生ズルデアラウカラ、今
日此精神病院ヲ建テ、以テ完全ヲ期スト云フヤウナ御説
明ノヤウデアリマス、然ルニ此法ニ依テ、地方ニ建テル所ノ
モノハ不健全ノモノガ出來ルヤウニモ見エル、不健全ナモノ
ヲ建テ、ハ中と御許シニナルコトハ出來ヌモノデアラウト思
ヒマス、此精神病者ト云フモノハ取扱上甚ダ面倒ナモノデ
アル、國立ノモノデナケレバ十分ニイカヌ、成程經費ノ問題
ハアリマセウケレドモ、此患者ヲ收容スル以上ハ相當ナル設
備ガナケレバナラヌコト、思ヒマス、此方ニ相當ニ出來ルモ
ノデアレバ、之ヲ中央ニ集メテト云フコトハドンナモノデアリ
マセウカ、昨日モチヨント伺シタノデアリマスガ、九州ノ端カラ
モ東京ニ之ヲ連レテ來ルト云フヤウナ御見込デアルト承知
シテ居リマスガ、實際御承知カドウカ知リマセヌガ、精神病
者ト云フモノハ誠ニ奇怪ナモノデ、遠路ヲ連レテ歩クト云フ
コトハ中と困ル、故ニ各府縣、一縣ニ一ツナリ、二縣ニ一ツ
ナリ、或ハ三縣ニ一ツナリ精神病院ガアリマスレバ、其方面
デ收容ガ出來ルヤウニナラナケレバナラヌコト思ヒマス、併シ唯
今ノ御説明ニ依ルト云フト一ノ國立精神病院ヲ建設スレ
バ、之ニ依テ目的ヲ御達シニナルコトガ容易ク出來ルヤウ
ナ御考デアリマセウカ、本員ノ見ル所デハ是ハ不可能ノコト
デハナイカト思ヒマス、精神病著ノ危険性ノモノデアルト云
フト、途中護送スルニ中と困難デアル、船ニ乗セルニシテモ、
汽車ニ乗セルニシテモ、中と困難ナ手數ヲ經ナケレバ連レテ
來ルコトハ出來ナイコトニナルソレハ實際ノ御經驗ガアリ
ノコトナレバ、別ニ申スコトモアリマセヌガ、私共多少精神病
者ニ關係シタコトガゴザイマスガ、實ニ此位困シタコトハナイ
ソレヲ遠路ヲ連レテ來ルト云フ取扱ヲナサルノハ實際私ハ

不可能デナイカト思ヒマス、若シモ、サウ云フ御考ガアッテ、精
神病院ヲ御建テニナリマスレバ、今少シ研究ノ餘地ノアル問
題デハナイカ、但シ地方ニハ患者ヲ擁護スル、患者ヲ護ル、
ト云フモノモアラウト思フノデス、サウ云フモノハ寧口各縣カ
要スペキ少年デアリマシテモ、ソレヲ一々小ナサ經濟ノ一府
縣デ何レモ相當ニ感化ノ道ヲ盡スト云フコトハ中と骨ノ折
レルコトデゴザイマスノデ、極メテ性ノ惡イモノハ寧口一箇所
ノ國立感化院ニ收容スルガ感化ノ目的ヲ達シ、縣ノ經濟ヲ
モ甚シク負擔ヲ重カラシメズニ濟ム、斯ウ云フヤウナコトデ
ソレト同ジヤウナ考デ他曰國立精神病院ヲ設立スル必要
ガアルト考ヘマシテ此箇條ヲ設ケテアル次第アリマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 是ハ素人ガ申上ダルコトデ
アリマスカラ、或ハ當ラヌカモ知レマセヌガ、サウスレバ更ニ説
明ヲ申上ダルコトニ致シマセウ、同ジ精神病者ノ患者ト申
シマシテモ色ニナ程度ガアラウト思フノデ、其總テノ程度ノ
モノニ相當ノ設備ヲ致スト云フコトガ甚シク經費ヲ増サズ
シテ出來ルコトデアリマスレバ、總テ此道府縣ニ義務ヲ負ハ
セテ國庫カラ補助イタシテ置ケバ、ソレデ濟マウカト思ヒマス
ケレドモ、若シ此患者ニ色ニナ程度種類モアリマスカラ、ソレ
ニ對シテ相當ノ設備ヲ必要ト致スモノデアリマスト云フト、
之ヲ一々一人若クハ數人ノ患者ノ爲ニ殊更ニ府縣ノ負擔
ヲ増スト云フコトハ隨分迷惑ノコトデアラウカト思ヒマスノ
ト云フスウニ云フ考ヘデアリマス、ドウモ精神病者ハ素人デ分
致シマス時分ニハ寧口手ニ餘ルヤウナモノデ、殊更ニ一人若
クハ數人ノ爲ニ府縣ノ負擔ヲ重クシナケレバナラヌヤウナコ
トガアリマスレバ、ソレハ一層纏メテ國デ引受ケタ方が宜イ
ト云フスウニ云フコトガ出來テ來ヤシナイカト考ヘマス、サウ
リマセヌガ、感化院ナドノ譬へモアリマスガ、極メテ危險ナ性
質ノ者デ外ノ者ト一所ニ置キマスト訓育ニ困ル、取締上ニ
モソレガ爲ニ殊更ニ金ガ掛カルト云フ、サウ云フ者ハ寧口此
一ツニ集メタ方ガ宜イ、斯ウ考ヘテ居リマス、精神病ノ患者
ニモソレトノ程度ガアリ危険性ノ程度ニアルト云フ者デア
リマシテモ、同ジヤウナ施設ヲ致シテ濟ニマスモノデアレバソ
レデシウゴザイマスガ、ソレハノ程度ノ施設ヲセネバ真ニ
以テ患者ノ療養ノ途ガ達セラレヌト云フコトデアリマスト、
一人若クハ數人ノ爲ニ府縣ガ容易カラヌ費用ヲ要スルモノ
デアリマスカラ、一ツ所ニ集メテ國ガ負擔ヲシタ方ガ宜シ
カト考ヘズ、其爲ニ規定ヲ設ケタ次第アリマス

○江木千之君 私モ今ノ箇條ニ付テ伺ヒタ、國立病院
上云フモノハ今ハ無イノデアル、此法律ニ依テ國立精神病
院ヲ置クト云フコトヲ決メルト云フ筋デナイ、今年ノ豫算ニ
國立精神病院ヲ立テルト云フコトガ豫算ニモ出テ居ル
デゴザイマセウカ、若シ今年ノ豫算ニ出テ居ナイデ、唯將來
國立病院ト云フモノヲ立テルト云フ想像ヲ起シテ、ソレヲ法
文ノ規定ニ掲ゲテ、矢張リ東京ニ一ツ置クトカ、東京マデ連
レテ來ルノハ大變ダトカ、如何ニモ空論アル、斯ウ云フ空
ナ法律ト云フモノハ殆ド例ガナイヤウデアリマスガ、ドウ云フ
モノデアリマスカ

○國務大臣(床次竹二郎君) 如何ニモ左様ニ御聽取ニ
看護スル上ニ於テ差支ノナイ設備ヲサセテ精神病院トシテ
之ニ收容スレバ足リル如キモノデハナイカト思ヒマスガ、モウ
一應容易出来ルコトデアリマスカ伺テ置キタイト思フ、サ
ウ云フ目的デアレバ實際上ニケヌ、不可能ノコトデアラウト
思ヒマス、出來ヌコトハアリマスマイガ、ソレハ非常ナコトニ
ナルト思ヒマスガ、

○國務大臣(床次竹二郎君) 是ハ素人ガ申上ダルコトデ
アリマスカラ、或ハ當ラヌカモ知レマセヌガ、サウスレバ更ニ説
明ヲ申上ダルコトニ致シマセウ、同ジ精神病者ノ患者ト申
シマシテモ色ニナ程度ガアラウト思フノデ、其總テノ程度ノ
モノニ相當ノ設備ヲ致スト云フコトガ甚シク經費ヲ増サズ
シテ出來ルコトデアリマスレバ、總テ此道府縣ニ義務ヲ負ハ
セテ國庫カラ補助イタシテ置ケバ、ソレデ濟マウカト思ヒマス
ケレドモ、若シ此患者ニ色ニナ程度種類モアリマスカラ、ソレ
ニ對シテ相當ノ設備ヲ必要ト致スモノデアリマスト云フト、
之ヲ一々一人若クハ數人ノ患者ノ爲ニ殊更ニ府縣ノ負擔
ヲ増スト云フコトハ隨分迷惑ノコトデアラウカト思ヒマスノ
ト云フスウニ云フコトガ出來テ來ヤシナイカト思ヒマス、其時
ハ此所ニ一人若クハ數人ノ人々居ルカ爲ニ、監理上甚ダ手
数ヲ要スルト云フコトガ起シテ來ヤシナイカト思ヒマス、其時
ナ情態ガ起シテ來タキハ國立精神病院ニ收容イタス方ガ
便宜上宜カラウトスウ思フノデアリマス、是ガ空文ニナリマ
幸ニ此箇條ヲ適用スル必用ガナケレバ國モ精神病院ヲ造
ル必要モナカラウト思ヒマスガ、先づ此府縣ニ設立ヲ命ジマ
シテ、ソシテ收容シタ様子ヲ見テ、先程カラ説明ヲ致スヤウ
ナルカモ知レマセヌガ、感化院ト云フモノガ、其例デアリマス、
神病院ヲ御建テニナリマスレバ、今少シ研究ノ餘地ノアル問
題デハナイカ、但シ地方ニハ患者ヲ擁護スル、患者ヲ護ル、
看護スル上ニ於テ差支ノナイ設備ヲサセテ精神病院トシテ
之ニ收容スレバ足リル如キモノデハナイカト思ヒマスガ、モウ
トノ方法ガ宣シイカト考ヘマス、丁度其感化院ナドモ左
様ナ考デアリマシテ、隨分種類ガゴザイマス、同ジ感化ヲ
要スペキ少年デアリマシテモ、ソレヲ一々小ナサ經濟ノ一府
縣デ何レモ相當ニ感化ノ道ヲ盡スト云フコトハ中と骨ノ折
レルコトデゴザイマスノデ、極メテ性ノ惡イモノハ寧口一箇所
ノ國立感化院ニ收容スルガ感化ノ目的ヲ達シ、縣ノ經濟ヲ
モ甚シク負擔ヲ重カラシメズニ濟ム、斯ウ云フヤウナコトデ
ソレト同ジヤウナ考デ他曰國立精神病院ヲ設立スル必要
ガアルト考ヘマシテ此箇條ヲ設ケテアル次第アリマス

が宜イト考ヘルノデアリマス、然ラバ其國立精神病院ヲ直チニ
今日府縣ニ設置ヲ命ズルト同時ニ設立ヲスベキヤ否ヤト云
コトハ是ハ又別ニ考ベキ事柄デアリマス、マダ府縣ニ設
置ヲ命ジテ其實況ニ依テ國立精神病院ヲ設置スルモ敢テ
遅クハナイト思フノデアリマス、完全ト申シマスレバ初メカラ
國モ造リ府縣ニモ造ラシムルノガ宜イノデアリマセウケレド
モ、マア順序ヲ踏デ先ニ地方ニ相當ノ施設ヲサセ、其上デ斯
ノ如キモノハ一層國ガ引受ケルが宜イト云フモノハ國ガ引
受ケルヤウニスルト云フコトガ順序ダラウカト思ヒマス、所デ
國立精神病院ヲ立テルト云フコトハ必シモ茲ニ法文ヲ要セ
ヌノデアリマス、是ハ豫算ニ付テ御協賛サヘ得マスレバ、イツ
デモ出来ルコトデアリマスカラシテ、其國立ニスル爲ニ箇條
ハ茲ニハ必要ハ無イ、他日國立精神病院ヲ設ケタ方ガ宜シ
イ、ガ其時分ニハドウスルカト云フ規定ヲ是ハ設ケタモノノデ
アリマシテ、今日直チニ之ヲ行ハヌカラ、是ガ空文ダト云フコ
トハ申サレスト思ヒマス、今カラ法ヲ作ルニ當テ、他日規定
ノ必要アリト認メタコトヲ規定シテ置クト云フコトハ相當ナ
コトト思ヒマス

○江木千之君　ドウモ益々分ラヌノデアリマスガ、國立精
神病院ハ感化院ノコトデナイ、感化院ハ別モノデアルト云フ
コトニナルト、茲ニアル精神病院ト云フモノハ唯今無イモノ
トドコマデモ見ナクチヤナラヌ、サウスレバ何レノ時ニ是ガ成
立ツカト云フト、是ハ豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ得ナケ
レバ成立タヌ、帝國議會ガ協賛ヲスルヤ否ヤト云フコトハ如
何ニ内務大臣ト雖想像ガ付クマイト思フ、議會ハ各々其權
能ニ依テ協賛ヲスルノデアルカラ、協賛シテ初メテ國立
病院ト云フモノガ存在スルヤウニナルノデアル、所ガ其協賛
スルヤ否ヤト云フコトハ土臺分ラナイ不定ノ事件デアル、サ
ウシテ其國立病院ガアルカノ如キ規定ヲ設ケテ、成程ト其
二條ニ云ミノ患者ヲ入レル必要ガアルト云フコトハ、ソレハ
御說ノ通りデアリマセウガ、併シ果シテソレハ國立病院ヲ立
テルヤ否ヤト云フコトハ一向分ラナイ、イツ成立ツモノヤラ、
又到底協賛ヲ議會ガスルモノデアルヤ否ヤハ分ラヌ、成立ツ
ヤ否ヤ土臺前途ノ分ラナイモノヲ指シテ法文ノ規定ヲ置ク
ト云フコトハ如何ニモ法ガ空文デナイト云フコトハ私ハ申サ
レヌト考ヘル、併シマア是ハ意見ニ屬スルカモ知レマセヌカ
ヲ別ニ論ジテモ宜シウゴザイマス

○國務大臣(床次竹二郎君)　ドウモ私ノ申上ゲルコトガ
徹底シナイカモ知レマセヌガ、大體精神病者ノ保護治療ヲ如
何ニスルカト申セバ、今日デハ制度ガ不十分デアルカヲ茲ニ
精神病院ヲ造ル必要ガアル、ソレニハ其設立ノ義務ハ府縣
ニ負ハセル方ガ一番宜シヂヤナイカ、斯ウ云フノデ大體ハ
此案ヲ作ッタ譯デアリマスガ、倘府縣ノミニ其義務ヲ負ハセ

マシテモ、先程カラ申上ダマスヤウナ特別ノ取扱ヲ要スルト云フ患者ガアチラノ縣ニハ一人、コチラノ縣ニハ二人、又其次ノ縣ニハ三人アルト、斯ウ云フ風ナ其一名若クハ數名ノ爲ニ特ニ府縣ニ重キ義務ヲ負ハセルト云フコトハ甚ダ宜シクナイカラ、ソレ等ノ者ハ國立精神病院ニ收容イタス方ガ最モ適當ナ處置デアラウ、其爲ニ此六條ノ規定ヲ今カラ設ケテ置ク、サウ申上ダレバ、國立精神病院ト云フモノハ何レ豫算デ協賛ヲシナケレバ、ナラヌカラ、協賛ヲスルヤシナイカラヌモノヲ茲ニ書イテ置クノハドウカト云フ御話デ、ソレモ一應御尤モデハゴサイマスルケレドモ、此法ヲ立テマスル今日ニ於キマシテハ何レサウ云フヤウナ時節ニ遭遇イタシマシタ時分ニハ、自然國トシテモ國立ノ病院ヲ造ルコトノ必要ヲ御認メ下サルコト、思フテ居ル次第アリマス、其時ニナリマシテモ其位ノ爲ニ國立ノ病院ヲ造ル必要ハナリト云フ御議論ガ多數デゴザイマスレバ、是ハ致方ナイ次第デゴザイマスケレドモ、能ク其時ノ實際ニ應ジテ已ムヨ得ヌト云フコトゴザイマスレバ、自然御協賛ヲ下サルモノト思ウテ爰ヘ豫メ規定シテアル次第デゴザイマス、左様…○男爵高木兼寛君　本邦ニ於テハ未ダ曾テ國立精神病院ナルモノハ無イノデス、今日マデ幾十年ノ間經過シテ參ッタノデアリマスガ、實際ニ於キマシテ主務大臣ガ危険ナリト御認メナシテ、特ニ收容シナケレバ、ナラヌト云フヤウナ事業ガ實際アルノデスカ、ソレヲ伺シテ見タイ、今日マデモ數十年フ經過シテ居ル、ソレデ斯ウ云フヤウナ始末ノ付カヌト云フヤウナ者デモアレバ、未來ニ於テモ亦ソンナコトが起フウト云フ御想像ガ付ク譯アリマスガ、是ハ政府ノ大臣ヲ煩ハシマセヌカラ、實際ノセヌデモ宜イゾデアリマスガ、何カサウニ云フ事實ガアルカ、アルナラ…○國務大臣(床次竹二郎君)　ソレハドウモ私ハ必ず起テ來ルダラウトハ想像スルノデアリマスガ、今日今實際ドウト云フテ御答ヲ申上ダルコトハ困難デゴザイマス、ト云フノハ府縣立病院モ出來テ居ル次第デモゴザイマセヌカラ、實際ノ状況ハ斯ノ如クデアリマスカラ、是ハ甚ダ難儀デゴザイマスト云フコトハ、今ハドウモ何レノ申上ダラレマセヌ、是カラ府縣立病院ヲ設置スル譯デゴザイマスカラ…併シ年ニ殺人放火ノ罪ヲ犯ス精神病者ハ百五十名モアル次第デゴザルト特ニ是等ノ者ヲ百五十人ト申シテモ、全國ヲ通ジテノ百五十人デアリマスカラ、各府縣ニ割當テレバ、ホンノ數名ノ者ニナリマス、其數名ノ者ノ爲ニ他ノ精神病者ト異ナツタル別ノ設備ヲ致スト云フコトハ府縣ニ取子テハ隨分迷惑デア

リマス、一人一人數名ノ爲ニ到ル所特別ノ施設ヲスルヨリモ、是ハ一纏メニシテ、國ノ方デ施設ヲ致ス方ガ宜シイト思フノデアリマスガ、イツ國立精神病院ヲ造ル考ヘカト、斯ウナリマスレバ、其事ハ今明ニ申上ダラマセヌガ、併シ先ホドカラ例ニ取テ申上ダマシタ國立感化院、是ハ法律ハ四十四年ニ出來マシテ、サウシテ矢張リ之ト同ジ様ナ規定ガアルノデアリマスガ、實際國立感化院ノ出來マシタハ即チ昨年デアリマス、昨年ニ至テ初メテ御協賛ヲ得テ國立感化院ヲ造ラシテ居リマス、四十四年カラ今日マデハ府縣ニ全ク收容シテ居ツタノデアリマス、收容シテ居ルト、實際ドウモ一二ノ者ト他ノ不良少年ト同ジ所ニ收容シテ置クト云フコトハ感化ノ爲ニモ宜シクナシ、設備ノ爲ニモ特ニ小人數ノ爲ニ設備ヲ致サニヤナラスト云フコトハ甚ダ困ルノデアリマス、ソレ故ニ四十四年ニ法律ハ出來、漸ク大正七年ニ國立感化院ハ出來ルヤウナ次第デアリマスカラ、精神病者ノ方ニ致シマシテ、テモ先ヅ此際府縣立ヲ造リマシテ、サウシテ其實際ニ依テ、必要ニ、依テドウモ國立精神病院ヲ造ラナケレバナラス時代グ來ヤウト思ヒマス、ソレガ果シテサウ云フ必要ガアルト致シマスレバ、今日カラ法文ヲ設ケテ置クト云フコトハ至極適當ナル事柄ノヤウニ考ヘマス

○男爵高木兼寛君 大臣ニ對シテ尙ホ此上御質問申上ゲルコトハ御氣ノ毒ニ存ズルノデアリマス、ソレデ大臣ニハ限リマセヌト云フコトヲ申シタノデアリマス、私モ内外ノ斯ウ云フ病院ヲ視察シテ見タノデアリマスガ、唯今仰シヤルヤウナ工合ニ行テハ實際店ナインノデアリマス、ソレハ病院ニ於キマシテハ多少趣ヲ異ニシテ居リマスキレドモ、危險ガアレバ、危險ノアルモノハ危險ノアルモノ、ヤウニ病院ノ中デ始末スル所ヲ捨ヘテ取扱ツテ居ルノデゴザイマス、同ジヤウナモノヲ一緒ニ集メテヤルト云フコトハ、設備サヘ出來レバ結構ナコトニハ違ヒアリマセヌケレドモ、何レモサウハ參テ居ナイト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ地方ニ御立テニナシテ、是デ以テ不十分、或ハ患者ヲ保護スルニ不足ヲ告ゲルト云フ場合ニ於キマシテ、案ヲ御立テニナシテ御出シニナシテモトニハ違ヒアリマセヌケレドモ、何レモサウハ參テ居ナイト考ヘルノデアリマス、ソレハ必要カラ來ルノデスカヌテ、必要ガ起レハ豫算モ御出シニナルニ違ヒナイ、其時デモ遅クハナカラウト云フ心持ガ致スカラ御尋不シタ譯アリマス、今日立テナクテハ將來立テルコトガ出來ナイト云フモノデハナイト思フ、假ニ削除シテ仕舞ツタラモウ將來立テナイト云フコトニナリマセウカ、立テラレヌト云フコトニナリマセウカ、モウ一應ドウカ…

云フ條文ニ致シテ置イタ方ガ宜シイ、強ヒテ之ヲ削ルド云フ
コトハドウカ御勘辨ヲ願ヒタイノデアリマス

○委員長(侯爵花山院親家君) 次ニ結核豫防法案ノ質

問ニ移リマス

○男爵高木兼寛君 第二條ニ付テ御尋ヲ致シタイ「第二條、醫師結核患者ヲ診断シ又其ノ死體ヲ検査シタルトキハ患者ノ場合ニ在リテハ患者又ハ其居住ノ場所ノ管理ヲ爲ス者若ハ其ノ代理ヲ爲ス者、死體ノ場合ニ在リテハ死體所ノ場所ノ管理ヲ爲ス者又ハ其ノ代理ヲ爲ス者ニ命令ノ定ムル所ニ依リ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示スベシ」トアリマス、之ニ付テ御説明ヲ願ヒタイノデゴザイマス、即チ「患者ノ居住ノ場所ノ管理ヲ爲ス者」ト云フコトデアル、是ハドウ云フモノニナカルノデアリマスカ、了解シ兼ネマスカラ此上言ヲ費サズニ當局ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 御答へ申上ダマス、患者ガ實ハ第一條ニアリマス通り所謂肺結核又ハ喉頭結核ニ致シマシテ、病毒傳播ノ危険ガアルト云フ重症ノ者ニアリマスカラ、其場合ニハ患者自身ニ言フコトガドウカト云フコトモゴザイマス其邊ヲ想像イタシマシテ患者又ハ其居住ノ場所ノ管理者(即チ患者ノ住ンデ居ル所ノ居住ノ場所)ソレヲ管理スル所ノ者、或ハ戸主ノ場合モアリマセウシ、或ハ其者が若シ戸主ニアリマセヌデモ、兎角其家、場所ト云フモノヲ管理スル者ト云フコトヲ明定シタ次第アリマス

○男爵高木兼寛君 居宅ノ管理者ト云フ意味ニアリマスレバ、何故居宅ノ管理者トナサラヌノデアリマスカ、居住ノ場所ノ管理ヲ爲スト云フコトニアリマスト、借地ノ如キモノデ差配人トカ何トカ云フモノガ其所ニ居ル、サウ云フ者ガ其

場所ノ管理ヲ爲スト云フコトニアリマス、居宅ノ場所ト云フ意味ニアリマス、居宅ノ場所ト云フコトニアリマス

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今大體ヲ申上ダマシタ所デ御御了承ヲ願シテ置キマシタガ、居住ノ場所ト云フコトハナコトノ御話ガアリマシタガ、差配ト云フヤウナ心持ガ致スノデアリマス、ソレニ依レバ居住ノ場所デナイ居宅ノ管理者ニナル

場所ノ管理者ニナルト申上ダルヤウニナリハシマセヌカ

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今大體ヲ申上ダマシタ所デ御御了承ヲ願シテ置キマシタガ、居住ノ場所ト云フコトハナコトノ御話ガアリマシタガ、差配ト云フヤウナ心持ガ致スノデアリマス

○男爵高木兼寛君 何分ニモ分リ兼ネマスか人ヲ指シマセカラ、患者ニ指示スルト云フコトハ直接指示スル、場

所ヲ管理シテ居ルト云フ所ハ、ドウモ所謂貸長屋ニアリマス、中カク、差配人ガ場所ヲ管理シテ居ル、斯ウ云フコトニナリマス

○政府委員(杉山四五郎君) チコット字ガ變ア居リマスガ、中央衛生會デ御審議ノ時、高木男爵ノ御審議ナサイマ

シタ時ニハ「患者又ハ家人」トナツテ居リマス、此家人ト云フコトハ傳染病豫防法ニアル、規定デアリマスカラ、其文字ノ方ガ宜イカトモ思ヒマシタガ、此案ヲ審議スル機關ガ他ニアリマシテ、所謂法制局デアリマス、家人ト云フコトハ法律的ニ居住ノ場所ノ管理ヲ爲スト言シタ方ガ宜イト云フコトニ

ナツタノデアリマス、家人ト云フ意味ニ御取リニナレバ、明瞭シハセヌカト思ヒマス、中央衛生會デ御審議ノ際ニハ家人ト云フコトニナツテ居リマスカラ、其人ニ代シテ居

ル家人ガアル、サウ云フ意味合ト御承知ヲ願ヒマス

○男爵高木兼寛君 サウ云フヤウニ了解スレバ、宜シウゴザイマスケレドモ、書イテアル文字デハサウ讀メナイト思フソレデ御尋不スルノデス、是デ一般ノ人ニ分リマセウカ、斯ウ云フ疑ガ起タノデ御尋ヲシタノデス、死體ノ場所ノ管理ヲ爲ス者、是ハ分リマス死體ノ現在アル所ニ付テ取調ヘルノデアル、豫防方法ヲ指示スルコトガ出來ル、前ノハ患者ノ家人ト云フ意味ニハ、場所ノ管理ヲスル人ト云フ意味ニ其家族ト云フ意味ニナラヌ、且又管理者スル人ト云フコトガアル、ソレデ御尋スルマダドウモ私ニハ是デヤ民俗ニ通ズルデアラウト云フ感ジハ起テ居ナインデアリマス

○江木千之君 此五條ノ一項ノ二號ハ是ハ學校ナドテ肺結核ノ疑ガアル教員ナドガアッタ、モウソレハ見ツケ次第罷メサス趣意デセウナ

○政府委員(杉山四五郎君) 是ハサウデゴザイマセヌ、業態上病毒傳播ノ虞アル職業ノ者ハ主トシテ警察取締ニ屬スル者ニ之ヲ適用スル考デアリマス、學校ノ教員ノ如キハ是ハ含マヌ積リテ制定シテアリマス

○江木千之君 確カ今ノ教員ニ對シテハ教育基金ノ内十萬圓ヲ出シテ居ルト思ヒマス、ナカーネレデハ引足リモ何モシナイデセウカ、併シ私ハ此法文ヲ見テ第一號ニモ二號ニモ這入ルト考ヘタノデスカ、斯ウ書イテ學校教員ナドハ除クト云フコトゲ分リマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(杉山四五郎君) 是ハ施行命令ノ方ニ明定シタ考ヲ有テ居リマス

○北里柴三郎君 唯今ノ江木君ノ御説ニ次イテ私モ此箇條ニ付テハ甚ダ疑惑ヲ抱キマスガ、何故學校教員ヲ御除

核ニ羅ツテ居ルノガ蔓延傳播サスルノガ重モナル因ノ一ツトキナサルノデアリマスカ、我ニ國、日本ニ肺結核ノ蔓延ト云フモノ、大ナル原因ハ學校教員、殊ニ小學校教員ノ結果ニ羅ツテ居ル時分ニ悉ク醫者ガ診斷シテ其教員ノ患者ヲ

丸デ其業務ニ從事スルコトヲ禁シタナラバ、是ハ教育上非常ニ困難ヲ來スデゴザイマスケレドモ、謂ハユル病傳播ノ分割ト云フモノハ肺結核患者ノ中デモ傳播虞ノア

ルノト、マダ其處マテ行カヌノガアリマスカラ、其教員ノ患者ヲ所ノ痰ノ中ニ謂ハユル結核菌ト云フモノガアレバ、ソレハ傳播ノ虞ガアリマスケレドモ、若シ肺結核ニシテモ肺結核ノ初

期デアリマスレバ、何等傳播ノ虞ハナイト言テ差支アリスガ、常ニ困難ヲ來スデゴザイマスケレドモ、謂ハユル病傳播ノ分割ト云フモノハ肺結核患者ノ中デモ傳播虞ノアル、アレハ規定ニハ確カ明カニ結核トハ書イテアリマセヌケレドモ、結核ト云フコトヲ意味シテ居ル所ノ規定が出來得ラレルダケヤツテ居リマスサウデアリマス、其規定デ出來得ラレルダケヤツテ居リマスサウデアリ

如キ三

○男爵高木兼寛君 半バデハアリマスガ、罰スルコトデハナ
イ、サウ云フ一と認メテ：：：指示ヲ實行シナイ者ヲ認メルト
云フコトヲ：

○政府委員（杉山四五郎君） 簡單ニ申シマスルト自分ガ
往診スル、結核患者デスカラ一遍ヤニ二遍デハナク、何遍モ行
ク、患者ノ家ニ行ク度ニ見ルノニ一向厲行サレテ居
ナイ、患守サレテ居ナイ、サウ云フコトガ：：：行ク度ニ指示ヲ
スルノデスガ、何遍云ウテモ肯カズ、斯ウ云フヤウナ時ニ結局
家ガ貧窮デ出来ナインダラウト云フヤウナコトガ出來マシテ
初メテ此適用ガ起ルダラウト思ヒマスデアリマスルカラ、々々
人ヲ遣シテ自分ノ代リニ見サセナケレバナラヌ自分自ラ診察
日デナイニ若クハ往診ノ日デナイニ拘ラズ、刻々患者ノ家ニ
行ク度ニ見ルノニ一向厲行サレテ居第三條ヲ
適用セラレテ制裁ノ：：十五條ヲ被セル、サウ云フヤウナ非
常識ノコトハ之ヲサセヌヤウニ其邊ハ大臣ヨリ訓令等ヲ發
シテ地方官憲ニ發スル積リデアリマス、是ハ詰リ：：：徳
御答ヘ申シマスガ十五條ノ制裁ハ、實ハ此一定ノ義務ヲ
負ハセテ居ルモノデスカラ、法ノ上ニ於テ已ムナク此制裁ノ
規定ガアルノデス、決シテ私ハ外國ノ例ガ斯ウダトカサウダ
トカ申スノデアリマス、高木男爵ノ仰セノ通り外國ニハ外
國ノ民情風俗ガアル、我國モ元々我國固有ノ民情風俗ガ
アル、所謂共同團結、同胞相助々、相恵々、相憐レムト云フ
コトガアルカラ、成ルベク法律ナドモサウ云フ方針デ行キタ
イ、ドウカ成ルベク制裁ナシデヤリタノデアリマスガ、如何
セム法律ト云フモノハ斯ウ云フ義務ヲ負ハセルト云フト、ソ
レニ對シ制裁ト云フコトハ、技術ノ上デハ據ロナク書カナケ
無暗ニヤルト云フコトハ致シマセヌ

○北里柴三郎君 實ハ此科料ノコトニ付テハ、或ル場所デ
モ私ハ反覆反對ヲ唱ヘタ譯デゴザイマスガ、此結核ノコトニ
付テ我ニガ實際ノ所ヲ申上ダマスト、結核患者ノ痰ノ中ニ
所謂結核菌ナルモノガアル、或ハ是ガ傳播ノ虞ノアルモノデ
アル、結核ノ此豫防法ト云フモノハ即チサウ云フコトヲ取締
ル、ト云フタ時ニ此三條デ醫師ガ患者ヲ見テ、サウシテ又入
院患者ナラバ取締ガ宜イケレドモ、外來ノ患者ヲ見マシタ
時分ニ、アナタノ痰ノ中ニハ危險ノモノガアルカラシテ用心
シナサイト言ヘバ、患者モ納得シマス、自分ノ信用シテ居ル
醫師カラ云ハレルト：：ソレデ其危險物ヲ濫リニ途中ナン
カデ吐イテハイケマセヌヨ、吐クト其危險物ガ他ニ傳播シタ
リ何カスルカラ險呑ダカラ、ソソナコトヲ爲サルナ、斯ウ言ヘ
バ醫者ノ言フ時ハハイ一ト云ウテ患者ハ聽イテ居ル、所ガ
所謂患者ノ心理狀態ニナルト、公德心ト云フモノヲ非常ニ

重ンジテ吳レテ居ル患者バカリナラ宜イケレドモ、多クノ：：
多クノト云ウテハ少シ語弊ガアルケレドモ、或ル患者ニ於テ
ハ自分がコンナ病氣ニ罹リテ居ルカラ何モソンナニ人マデ何
スルコトハナイト云フヤウナ考デ、ベベット其邊ニ痰唾ヲ吐カ
ウト云フ、所ガ此法案ガ出ルト警察吏ナシカモ非常ニ注意
ヲ致シテ、サウシテ色ノ蒼褪メタ肺病ラシイ患者ガベベット吐
イタリ何カスルト警察官モ注意シテ、巡查ナドガ咎メル、其
時分ニ御前ハドノ醫者カ、ハイ私ハ某々ニカカタ居リマス、
斯ウ云ウタ時分ニ其醫者ハサウ云フコトヲ教ヘテ居テモマ
ダサウ云ウ亂暴ニ唾ヲ吐イタリ痰ヲ吐イタリスルノフ一向
申告シテ居ラヌ、斯ウ云ウテ巡査等ガ喧シク言フト、第三條
ト云フモノガ第五條ノ規定ニ嵌リハセヌカ、斯ウ云フヤウナ
懸念ヲ豫テ懷イテ居ルノデアリマスガ、即チ總テノ傳染病、
急性傳染病デモ何デモ、何時デモ醫者ト警察官吏トノ衝
突ハ甚シイノデ、東京デハソンナコトハ少イケレドモ、田舎デ
開業醫ガ警察吏ニ睨マレタラヒドノデアリマシテ、此法律
案ガ出テ今マデノコトデ容メラレテ居ルニ、是ハ亦其例ガ：：
木男爵ノ言ハル、通り、第三條ノコトニ付テ科料ニ處スルト
云フコトハ、後來醫者トノ間ニ圓滑ノ非常ニ缺クヤウニナリ
ハセヌカト云フヤウナ懸念ヲ懷イテ居リマス

○國務大臣（床次竹二郎君） 成程御説ヲ承リマスルト御

尤ナ點ガアルト考ヘマス、併シ此結核豫防法デ結核ト云フ

ノハ、第一傳播ノ危險が無ケレバ申サヌノデアリマス、傳播

ノ危險ナル病者ニ接シテ、ソレニ其豫防法ヲ示シテヤツタ

ケレドモ、ドウシテモ言フコトヲ肯カヌト云フ場合ニハ、醫者

カラ其者ヲ申告スルト云フコトハ、是ハ宜シカラウト思ヒマ

ス、其時分ニ醫師ガ怠タ：：サウ云フ場合ガアツ際ニ、醫

師ガ申告セヌカラ之ヲ科料ニ付スルト云フコトハ御説ノ通

リ考ヘナケレバナリマセヌカ、其場合ハ多ク其傳播危險ノア

ルモノト思テ居テモ、醫師ハ故意ニ之ヲ申告シナイト云フ

ヤウナ場合ニ、初メテ醫師者トシテノ義務ヲ盡サヌト云フコト

ガ起シテ來ルノダラウト思ヒマス、又其時ニハドウモ已ムヲ得

ヌヤウニ思ヒマス、病毒傳播ノ危險ガアルト云フコトヲ自分

モ承知シナガラ、強ヒテ患者ト何カノ關係ガアツテ世間ニソ

レノ現ハレルコトヲ氣ノ毒ニ思ッテ、強ヒテ之ヲ隱蔽シテ置ク

ト云フ、斯ウ云フヤウナ場合ハドウデセウカ、多少ノ茲ニ制

裁ノ途ヲ設ケテアルコトハ已ムヲ得ヌト思ヒマス、濫リニヤ

ルト云フコトハドウモイケマセヌガ、故意ニ世間ニ出スコトヲ

蔽ウテ居ルト云フ時ニハ、相當ノコトヲ致スヨリ外ナイヤウ

デアリマス

○男爵高木兼寛君 先キニ私ノ問ニ對シマシテ：：：實行

シナイト云フコトヲドウシテ御調ベニナルカト云フコトヲ御

出席者左ノ如シ

出席者左ノ如シ

委員長

候爵花山院

親家君

副委員長

北里

柴三郎君

子爵堤

雄長君

子爵米倉

昌達君

男爵高木

兼寛君

江木

千之君

男爵岩佐

新君

永田

秀次郎君

大森

慶次郎君

竹二郎君

四五郎君

尋ねシマシタ所ガ、度々往診スルカラ其度毎ニ注意スルニ拘
ラズ、豫防法ヲ怠テ居ルト云フヤウナ場合ニ云々ト仰シヤ
タガ、其場合ハ醫者トシテ少い、肺結核喉頭結核ノ患者ハ、
スルコトハナイト云フヤウナ考デ、ベベット其邊ニ痰唾ヲ吐カ
ウト云フ、所ガ此法案ガ出ルト警察吏ナシカモ非常ニ注意
ヲ致シテ、サウシテ色ノ蒼褪メタ肺病ラシイ患者ガベベット吐
イタリ何カスルト警察官モ注意シテ、巡查ナドガ咎メル、其
時分ニ御前ハドノ醫者カ、ハイ私ハ某々ニカカタ居リマス、
スルノデスガ、何遍云ウテモ肯カズ、斯ウ云フヤウナ時ニ結局
家ガ貧窮デ出来ナインダラウト云フヤウナコトガ出來マシテ
初メテ此適用ガ起ルダラウト思ヒマスデアリマスルカラ、々々
人ヲ遣シテ自分ノ代リニ見サセナケレバナラヌ自分自ラ診察
日デナイニ若クハ往診ノ日デナイニ拘ラズ、刻々患者ノ家ニ
行ク度ニ見ルノニ一向厲行サレテ居第三條ヲ
適用セラレテ制裁ノ：：十五條ヲ被セル、サウ云フヤウナ非
常識ノコトハ之ヲサセヌヤウニ其邊ハ大臣ヨリ訓令等ヲ發
シテ地方官憲ニ發スル積リデアリマス、是ハ詰リ：：：徳
御答ヘ申シマスガ十五條ノ制裁ハ、實ハ此一定ノ義務ヲ
負ハセテ居ルモノデスカラ、法ノ上ニ於テ已ムナク此制裁ノ
規定ガアルノデス、決シテ私ハ外國ノ例ガ斯ウダトカサウダ
トカ申スノデアリマス、高木男爵ノ仰セノ通り外國ニハ外
國ノ民情風俗ガアル、我國モ元々我國固有ノ民情風俗ガ
アル、所謂共同團結、同胞相助々、相恵々、相憐レムト云フ
コトガアルカラ、成ルベク法律ナドモサウ云フ方針デ行キタ
イ、ドウカ成ルベク制裁ナシデヤリタノデアリマスガ、如何
セム法律ト云フモノハ斯ウ云フ義務ヲ負ハセルト云フト、ソ
レニ對シ制裁ト云フコトハ、技術ノ上デハ據ロナク書カナケ
無暗ニヤルト云フコトハ致シマセヌ

○國務大臣（床次竹二郎君） 今御説ノヤウナコトハ已ム
ヲ得ヌト思ヒマス、ソレハドウモ致シ方ガゴザイマセス、唯併
シ私ノ申シタヤウニ、ドウモ是ハヒドイ危険性ノモノト患者
モ承知シテ居ル、サウ云フヤウナコトソレハ豫防法ハ元シテヤツタガ、ソレハ準
備セヌ、併ナガラ醫者モ何ダカ矢張リソレ世間ニ出スコト
ヲ嫌テ居ル、斯ウ云フヤウナコトハ致シ方ガアリマセヌ、始終附イ
トシテ今御説ノヤウナコトハ致シ方ガアリマセヌ、始終附イ
テ居ル次第ゴザリマセヌカラ、併シ醫者ニ於テモ故意
ニ或ル危険性ナル者ガアルニ拘ラズ、隠蔽スルヤウナコトガア
ル時分ニハ何トカノ途ガナケレバナラナイト思ヒマス
○委員長（侯爵花山院親家君） 本日ハ是デ散會イタシ
マス、明日又開キマス
○國務大臣（床次竹二郎君） 今御説ノヤウナコトハ已ム
ヲ得ヌト思ヒマス、ソレハドウモ致シ方ガゴザイマセス、唯併
シ私ノ申シタヤウニ、ドウモ是ハヒドイ危険性ノモノト患者
モ承知シテ居ル、サウ云フヤウナコトハ致シ方ガアリマセヌ、始終附イ
テ居ル次第ゴザリマセヌカラ、併シ醫者ニ於テモ故意
ニ或ル危険性ナル者ガアルニ拘ラズ、隠蔽スルヤウナコトガア
ル時分ニハ何トカノ途ガナケレバナラナイト思ヒマス
○國務大臣（床次竹二郎君） 本日ハ是デ散會イタシ
マス、明日又開キマス
午後零時二十七分散會

大正八年三月十六日印刷

大正八年三月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局